

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

従業員(各週1日出勤の非常勤を含む)8人中8人が答えてくれました。

公表 : 令和3年5月 13日

事業所名 きらとまなぶ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		おやつ部屋、勉強部屋、自立課題部屋、プレイルームの4つに部屋を分けています。人数が揃っている時などは、活動の流れをかえて取り組むことで各部屋の人数を調整しています。	子ども達が一気に帰ってきたときに勉強する部屋に人が、たくさんになる事があります。現在はコロナ感染の事もありますので、特に気を付けながら、全体の部屋を使い子ども達が密にならないように、対応しています。
	2 職員の配置数は適切である	4	4	児童数が急に増えたりすることもあり、その時には足りないと感じることがあります。その際には、ケガなどがないように声をかけながら対応しています。	配置上が問題なくても、1人必ず職員が付く児童がいる時や、児童の状況、送迎などがかぶると手薄になることがありますので、全体を見ながらすぐに対応が出来るように心がけています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	1	玄関に段差がありますが、他はバリアフリーになっています。トイレも未就学児対応のトイレが備わっていたり、手すりをつけて対応しています。ドアの隙間などに手を挟むことも予想されますので、ドアストッパーなども使いながら対応しています。	コンセントなどが出ているとケガの原因にもなりますので、コンセントの位置、場所なども配慮しています。また、角など危ない所には保護できるクッションを付けています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	2	一日の終わりには、使用した者や部屋の掃除機や消毒を行っています。消毒液は子ども達がなめて大丈夫なものを使用し安全に過ごせるようにしています。また、毎日空気清浄機(加湿器付)を使用しています。加湿器をするときは空気を除菌できる液体を入れて使用しています。	子ども達が普段使うものや部屋などは掃除を徹底しています。事務所など細かな所まで行き届いていない部分がある所は、清潔を保てるように工夫していきたいと思っています。今年度も消毒を徹底してまいります。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	3	2	朝から職員と話したりする機会がありますが、昼から出勤の職員とは時間がつかず話しあえない時もあります。	全体会議などをしながら、改善策を考えていきたいと思っています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		毎年度3月にアンケートを出しています。それをもとに話し合い、改善出来るようにしています。	保護者の方の意見を参考に改善できるように話しあっていきたいと思っています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1	ホームページが開設されていますので、そこで公開しています。公開される際にはお手紙にてお知らせしています。	ホームページで事業所向けと保護者向け自己評価アンケートを掲載していきます。ホームページなどが見れない方にはお手紙などの対応もしています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4	第三者による外部評価は出来ませんが、他事業所と話し合いながら、業務改善に努めています。	事業所連絡会を通して、他事業所の良い所を聞きながら業務改善に繋げていきたいと思っています。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	1	事業所連絡会の中で、必要な研修に取り組んでいます。	昼からの職員が参加出来ない研修もありますので、報告がしっかり出来るように努めていきたいと思っています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		独自のアセスメントツールを使用しながら整理をしています。すぐに状況を図るために、毎日業務日報に児童の様子を記入しています。	毎日の業務日報には日々の課題などを載せて評価しています。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8		ガイドラインを元に作成をしています。	ガイドラインを計画書に載せていますが、説明が不足部分がありますので今後さらにより詳しい説明をしていきたいと思っています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8		個別支援計画の中で必要な目標を毎日の業務日報に載せて、業務が終わってから評価をしています。職員全体が見やすく分かりやすいようにしています。	個別支援計画を完全には全体で周知できていない事がありますので、いつでも確認が出来る環境を作ったり、説明が出来る場面を増やしていきたいと考えています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	6		職員が交代で考えています。	同じ職員になる事もありますが、色々な職員で話し合いながら立案しています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		成長する児童に合わせて活動を変化させています。職員と常に話し合っています。	季節のイベントはよくありますが、児童の成長に合わせて活動をかえています。全員で参加できる活動、年齢に合わせた活動など全員が楽しめるように日々考えています。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成している	6		計画書を作成する際は、集団、個別での取り組みを踏まえながら作成しています。	集団活動がまだ難しい時には必ず、無理なく参加できるよう考え、計画書を作成しています。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1	朝礼の際には児童の変化や様子などを話しあってから、業務を開始しています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	2	業務終了後に業務日報に一人一人の児童の様子を書く欄がありますので、必ず記入しています。	非常勤の職員と密に話せる時間が少ないので、業務日報などにその日の児童の様子や変化を記入しています。記入漏れもありますので、気を付けていきたいと思っています。全体で把握できるように心がけていきたいと思っています。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8		毎日児童の変化を話し合ったり、送迎時に保護者の方と話し合っていますので、都度モニタリングになっていると思います	モニタリング結果を業務日報に記載することで、全体で周知するようにしています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		同じ職員になってしまう事がありますが、子どもの状況に精通した職員が参加するようにしています。	事前に資料も作成し、ふさわしい職員の参加が難しい場合でも対応できるようにしています。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6		コロナ禍もあり中々行えな状況がありました。	お伺いできない時もありますので、その場合は、お電話などで対応していきたいと思っています。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	×	×	医療ケアの児童はいてません。	医療ケアの児童はいてません。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	×	×	医療ケアの児童はいてません。	医療ケアの児童はいてません。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		昨年度はコロナ禍もあり、保育所等には行けない状況にありました。	お伺いできない時にお電話などで対応し共有していきたいと思いましたが、出来ない児童もいらっしゃいましたので再度、電話などを通して連携していきたいと思っています。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	3	コロナ禍で出来ない状況にありました。	コロナが落ち着きましたら、関わる機会を作っていくにはどうするかなどを考えたいと思います。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		保護者の方の了承のもと、常に連携し助言や情報共有をさせて頂いています。	引き続き、何かわからないことなどがあった際には連携していきたいと思っています。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	5	コロナ禍で出来ない状況にありました。	コロナが落ち着きましたら、改めて地域と関わる機会を設けていきたいと思っています。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	5	今年度、自立支援協議会の児童部会が発足し参加しました。	発足したばかりですので、これから積極的に参加し検討会などをしていきたいと思っています。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		送迎は保護者の方にお願ひしていますので、その時にお家での様子や最近の悩みなどを直接聞き取りが出来ています。	直接お話しが出来ない時でも、送迎時に保護者の方のの様子やいつもと違う時は連絡帳でお話し、電話をして対応しています。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	1	成長に合わせて、児童の変化などを様子に保護者の方と話すようにしています。直接話し合う機会が今年度は作れませんでした。	コロナ禍で直接話し合う事が難しい中、新しい方法での支援を考えています。ZOOMなどを使って、話し合う機会を作ろうと考えています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時に説明するよう心がけています。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8		ガイドラインを元に作成をしています。	ガイドラインを計画書に載せていますが、説明が不足部分がありますので今後さらにしっかりとした説明をしていきたいと思ひます。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		送迎時に毎度、様子を聞き取りしています。その時に出た悩みや相談は、すぐに返せるときはその場で返し、難しい時は、職員にも相談しながら、お返事を返しています。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	4	コロナ禍により出来ていません。	上記と同じくコロナ禍で直接話し合う事が難しい中、新しい方法での支援を考えています。ZOOMなどを使って、保護者会を開き連携を支援していきたいと考えています。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		相談があったその日に、職員全体で話し合い、解決が出来るように取り組んでいます。すぐに、保護者の方にお返事が出来るようにしています。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	3	ブログに様子を載せていますが、個人ページは作成できていません。	最近ではブログを載せていないこともございますので、再度話し合せて改善策を考えて更新が継続して出来るようにしたいと思ひます。
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	8		全体会議などで写真の取り扱いなどは注意するように伝えていきます。	今後も気を付けてまいります。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		保護者の方やお子さまに合わせて対応しています。ひらがなやルビを打ってお手紙を作成したりしています。	連絡事項やお知らせなどのお手紙を、漢字が難しい保護者の方などにはひらがなで作成したり口頭でゆっくり説明したり対応しています。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	6	昨年度はコロナ禍によりお呼びが難しい状況にありました。	コロナが落ち着きましたら、地域の方を招待するイベントなどは今後考えていく予定です。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	2	年に2～3回避難訓練を子ども達と行っています。コロナ禍により昨年度は消防士の方をお呼びするのが難しかったのですが、毎年度消火器の使い方など実際に訓練する時間を設けています。	近くの避難所へ逃げる訓練も行っていますが、コロナ禍で今年度は行えませんでした。4月からコロナ感染が落ち着いた頃合いを見て、再度、消防訓練、近くの避難所へ逃げる訓練等行っていききたいと思います。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		契約時にしっかり聞き取りを行い、面談時に様子などを再確認しています。	てんかん発作やけいれん等の対応、救急対応等をスムーズに対応できるよう、毎年度研修を行ってまいりたいと思います。コロナが落ち着いてから随時行っていきます。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8		契約の際に保護者の方に確認しています。原材料で不安なときは事前に連絡し確認してから食べるようにしています。	診断書の提出までは出来ていませんが、アレルギーの聞き取りを常にしながら、対応しています。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	3	ヒヤリハットが出た時は、書類を残し職員が見えるようにしています。	職員全体に周知できていないこともありますので、対策を考え改善していききたいと思います。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		毎年度、虐待防止の研修に参加しています。	研修した際は直ぐに伝達研修が出来るようにしたいと思います。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6		契約の際に事前に署名を頂いています。止むおえず拘束等を行った際は直ぐに電話で状況などを連絡するようにしています。	今後も何かあった際は必ずお電話などで直接ご報告させていただきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。 ※無回答はそのままで、数に入れていません。